



今、ここ

めざす子どもの姿 ~ やさしく かしこく たくましく ~
「合言葉」 わたしが主人公 一人ひとりが主人公

令和4年1月17日 第10号
銭座小学校 校長 丸山朋子

令和4年1月11日 3学期スタート!



新しい年を迎えました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと拝察いたします。

昨年度は、学校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、17日間の冬休みを終え、3学期がスタートしました。おかげさまで、子どもたちは全員そろって始業式を迎えることができ、校舎はたちまち活気に包まれました。

3学期はたいへん短い学期ですが、自分の成長を確かめ、次の学年へ、中学校へと飛躍するための貴重な準備の学期です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況が悪化し、防止対策が、さらに求められる中にありますが、冷静にやるべきことを実行し、感染防止に努めながら、子どもたちの力を引き出し・

高める指導を進めてまいります。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様の励まし・声掛けをよろしくお願いいたします。

【12月に除草作業をしていただき
気持ちよく新年を迎えた



運動場周辺】



○ 未来を見つめ、今、ここでできる関わりを

学校の1日は、朝、登校してくる子どもたちとの「おはようございます」のあいさつでスタートします。

12月、あいさつのことで、子どもたちに質問をしました。「あなたのあいさつを、『あなた』はどう思っていますか？」

あいさつについては、私も子どもの頃から、今の今までいくつもの体験をしてきました。勇気が出せなかったこと、自分の声が空に消えて相手に届かなかったこと、大きな声の出る友達を羨ましく思ったこと…。もちろん、互いに気持ちの良いやり取りができたことも…。皆さんの中にも、あいさつに関わる思い出をお持ちの方はいらっしゃると思います。

あいさつに限らず、そして、子ども・大人に関わらず「どんな自分になりたいか」と、なりたい自分の姿を描くことや、「わたしはどうだろう」と、自分を見つめることは、大切なことです。そして、大人は子どものよいモデルとなる役割があります。

「今ここ」の子どもたちの姿を見取り、目指す未来の姿を見据えながら、学校では、「子どもの良さを認め、引き出す関わり」を続けていきます。

家庭、地域、学校、子どもたちの生活空間のすべてが豊かな学びの場です。保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて取り組んでいければと思います。今後とも温かいご指導・力添えをお願いします。

○ 「新型コロナウイルス感染防止」にかかるご対応」よろしくお願いいたします。

先週末から、新型コロナウイルス感染症にかかる対応に関し、安心安全メール及び文書で「お知らせ・お願い」をしております。

また、本日、「さあ、chrome bookをはじめよう」をお配りし、ご家庭での一人一台端末の使用

について、説明とお願いをしております。

ご多用のところと存じますが、ご協力お願いいたします。

【6年生

ジョン先生との外国語学習】

○ 送別と歓迎

学校からのお便りでお知らせしていましたが、昨年12月、ALT(外国語指導助手)として、外国語学習の指導に携わってくださったボンゲカ・グメデ先生が、市内の他の学校にご異動となりました。

また、給食調理員の岡本美保さん、松本みゆきさんがご退職となりました。

楽しく英語を教えてくださいましたボンゲカ先生、毎日、おいしい給食を作ってくださいました岡本さん、松本さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

1月から、ALTのジョナサン・ファン先生、給食調理員の市河美穂さん、松下章子さん、鶴田佐和子さんをお迎えました。

給食は、三川中の生徒・教職員の分の調理も加わり早朝から一心に勤務いただいています。

ALTのジョナサン・ファン先生は、ご本人のリクエストで「ジョン先生」と呼びすることにしました。早速、12日に来校くださり、5・6年生児童に、ジョン先生のご出身アメリカ ロサンゼルスについてお話していただきました。

